



広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和7年1月30日
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】
中国財務局経済調査課
電話 (082) 221-9221

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→

(注) 7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	→
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	→

設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	6年度は減益見込み	6年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を上回る	前年を下回る	↘

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、気温高の影響で衣料品などが低調であり、前年を下回っている。ホームセンター販売は、気温高の影響で季節商品が不調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は、気温高の影響で夏物商品の好調が続き、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、気温高の影響で飲料などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車認証不正取得問題の影響から徐々に回復しつつあり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 気温の高い日が続いたため、アウターやセーターなどの秋冬物が低調だった。また、婦人靴や寝具の秋冬物の動きも鈍かった。（百貨店）
- 気温高の影響で、暖房器具や毛布などの秋冬商品が不調だった。一方、強盗被害等の報道を受け、防犯意識の高まりから、センサーライトやブザーなどの防犯用品には動きがみられた。（ホームセンター）
- 気温高によって日焼け止めや制汗剤などの夏物商品が10月まで好調だった。カイロや風邪薬などの季節商品は、11月後半から売れ出した。（ドラッグストア）
- 気温の高い日が続いたため、飲料やアイスクリーム、麺類の売行きが好調だった。（コンビニエンスストア）
- 自動車認証不正取得問題により出荷停止となっていた車種について、販売台数が徐々に回復している。（自動車販売）

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

一般機械は、海外向けの需要が堅調なことなどから増加している。プラスチック製品は、車載向け製品の需要が堅調なことなどから増加している。一方、輸送機械は、モデル切替の影響などから減少している。鉄鋼は、建設需要が低迷していることなどから建材向けの生産量が減少している。電気機械は、半導体市場の回復スピードに足踏みがみられるものの高い生産水準を維持している。このように、生産活動は、全体では、横ばいの状況にある。

- 主力製品について、海外からの受注が堅調に推移している。（一般機械）
- 車載向け製品について、ニーズが多角化していることなどにより安定した受注が確保できており、緩やかな右肩上がりの状況が続いている。（プラスチック製品）
- モデル切替の影響や主力車種の需要の落ち着きなどから、生産量が減少している。（輸送機械）
- 人手不足や物価高騰の影響により建設需要が低迷しており、建材向けの生産量は伸び悩んでいる。（鉄鋼）
- 半導体市場は回復しつつあるものの、そのスピードには足踏みがみられることなどから需要が回復するまでには至っていない。（電気機械）

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、横ばいで推移している。民間職業紹介における求人は、アルバイト・パートで弱さがみられるものの、正社員で堅調に推移している。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（6年10-12月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超幅が拡大している。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 賃金の引き上げが難しい企業では、住宅補助や奨学金返済補助、年間休日の増加などの福利厚生を充実させる企業も増えてきている。（人材・職業紹介）
- 慢性的な人手不足の状況が続いているが、特定の分野で起きていることではなく、全体的に人手が不足している。（生産用機械）
- 求人を行っても応募がない状況であることから、高校卒業予定者も求人対象者にするなど求人対象者の拡大を図っているほか、免許取得費用を負担するなどの対応を行っている。（運輸・郵便）

■ 設備投資 「6年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業では、「化学」などで減少するものの、「非鉄金属」、「自動車」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「金融・保険」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「不動産」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 自動車部品関連の設備投資を実施。(非鉄金属)
- 発電関連の設備投資を実施。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「6年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業では、「化学」などで増益となるものの、「生産用機械」、「その他の輸送用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「建設」、「その他のサービス」などで増益となるものの、「運輸・郵便」、「学術研究、専門・技術サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、持家が增加しているものの、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

- 輸出(円ベース)は、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、西欧などで減少している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、電気機器などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では大洋州、アジアなどで減少している。

広島県内経済情勢報告

(令和7年1月30日)

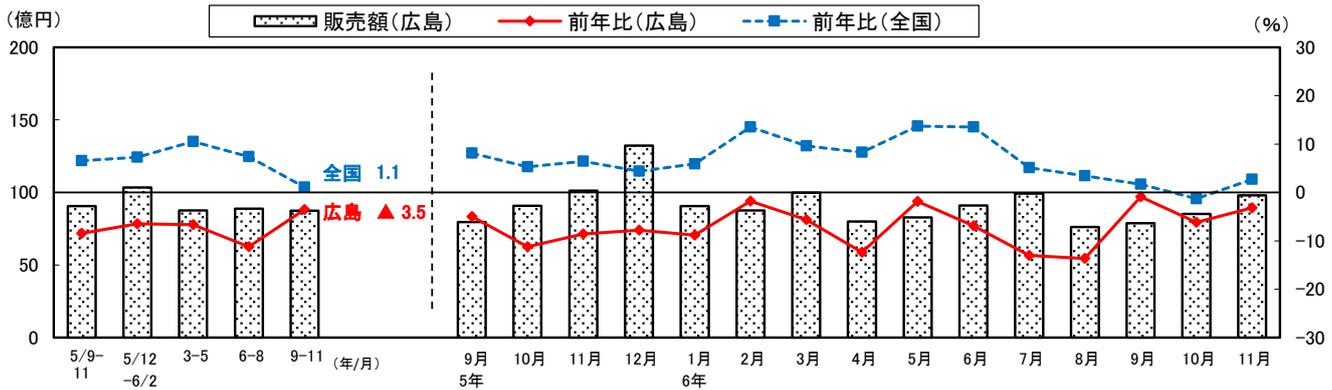
資料編

	目次	ページ
1.	個人消費	1
2.	生産活動	3
3.	雇用情勢	4
4.	設備投資	5
5.	企業収益	5
6.	企業の景況感	6
7.	住宅建設	6
8.	輸出	7

1. 個人消費 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

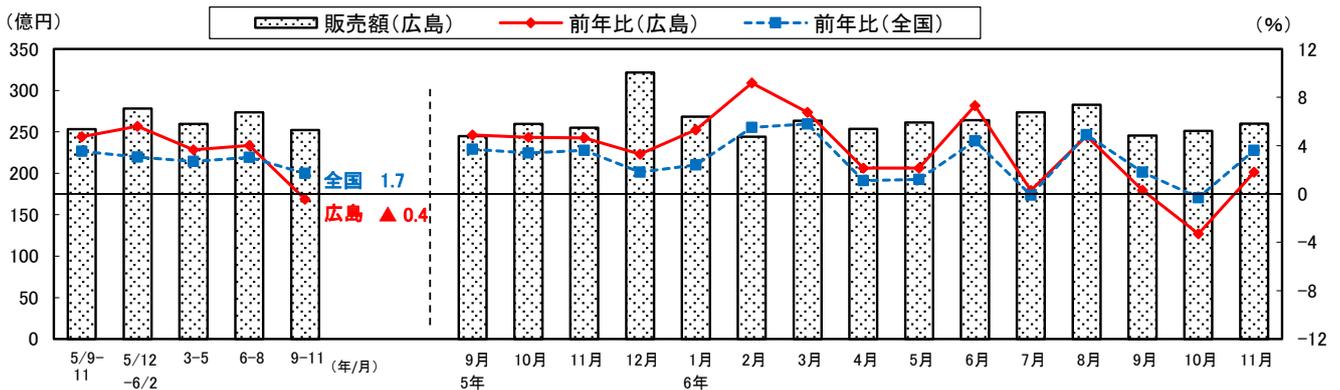
(1) 百貨店販売額(全店舗)

(注) (1)~(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



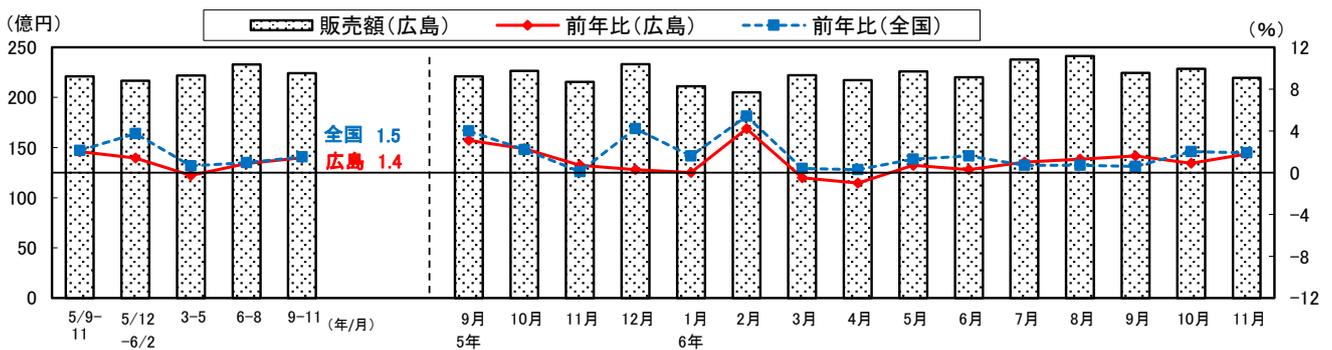
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) スーパー販売額(全店舗)



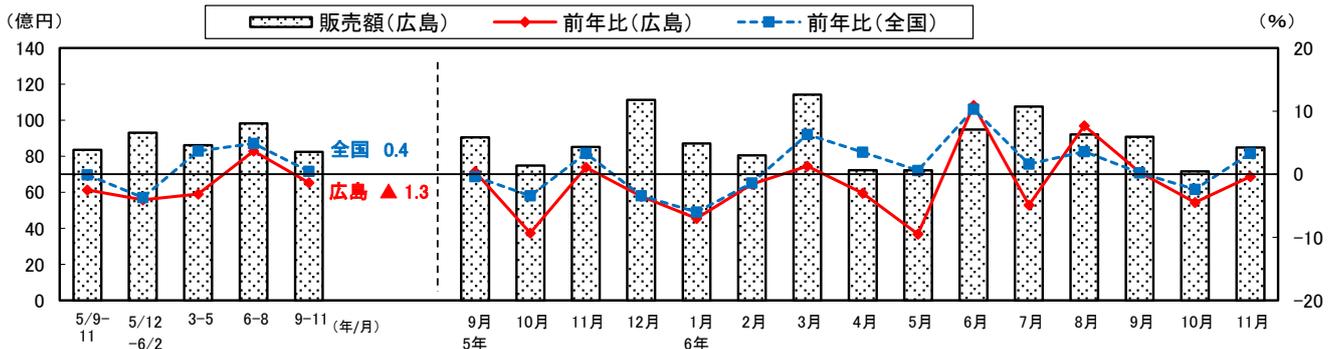
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



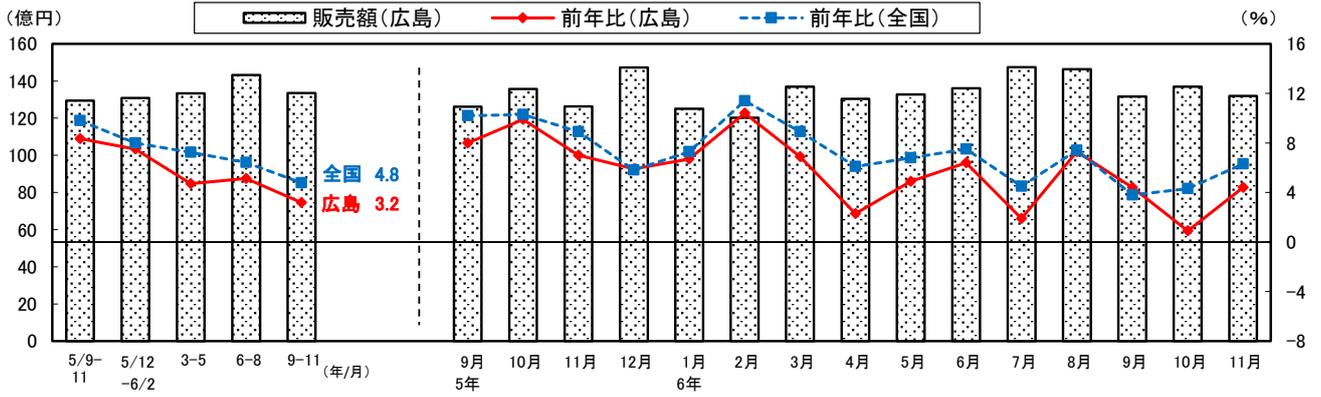
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



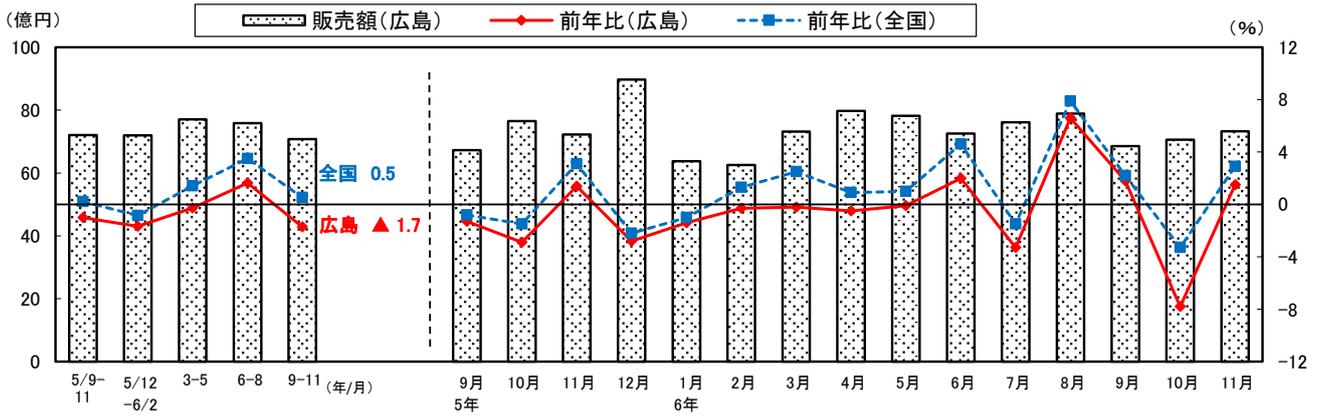
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



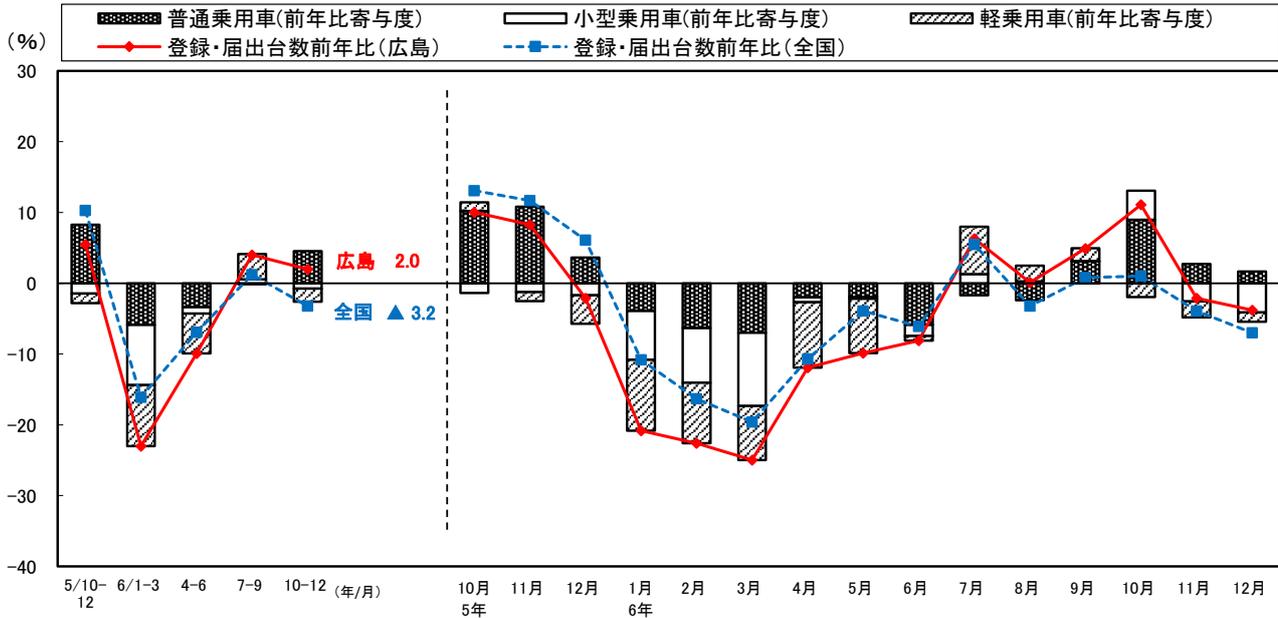
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

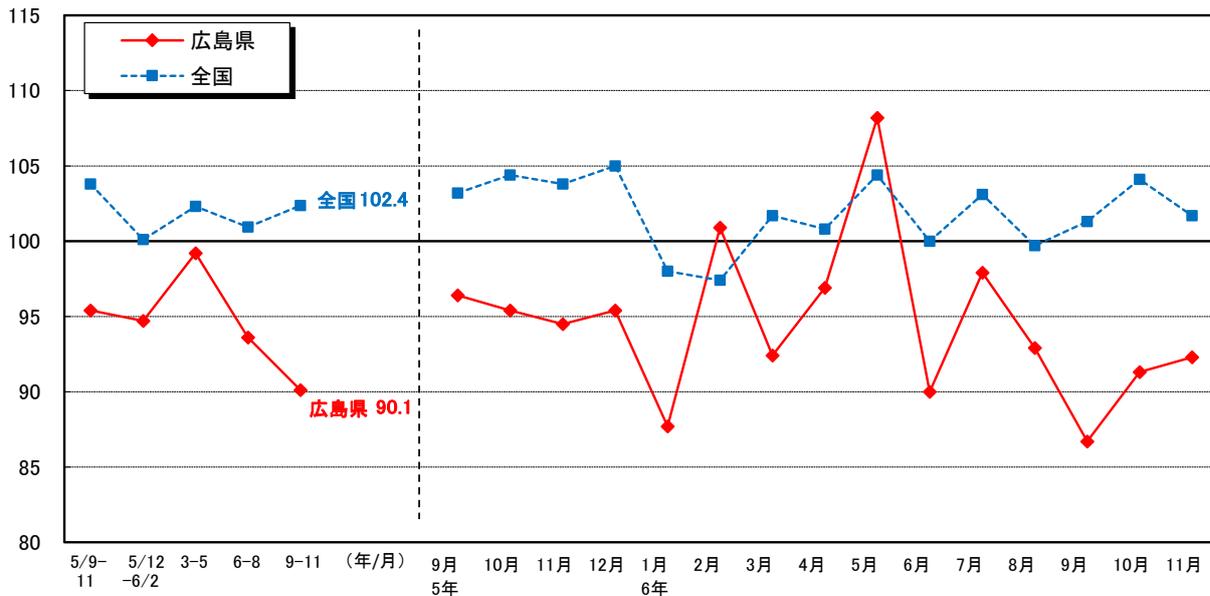


(資料出所: 中国運輸局)

2. 生産活動 横ばいの状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

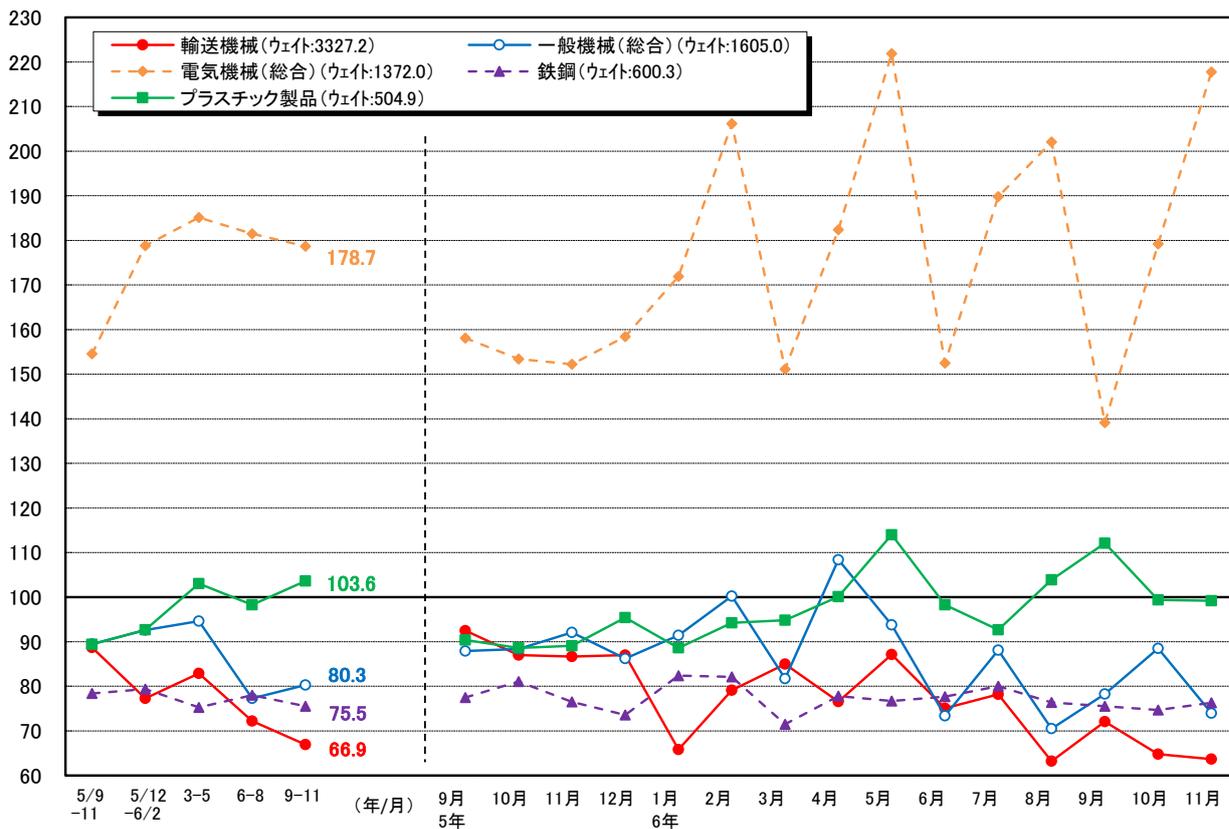
(指数) 全国(令和2年=100) 広島県(平成27年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

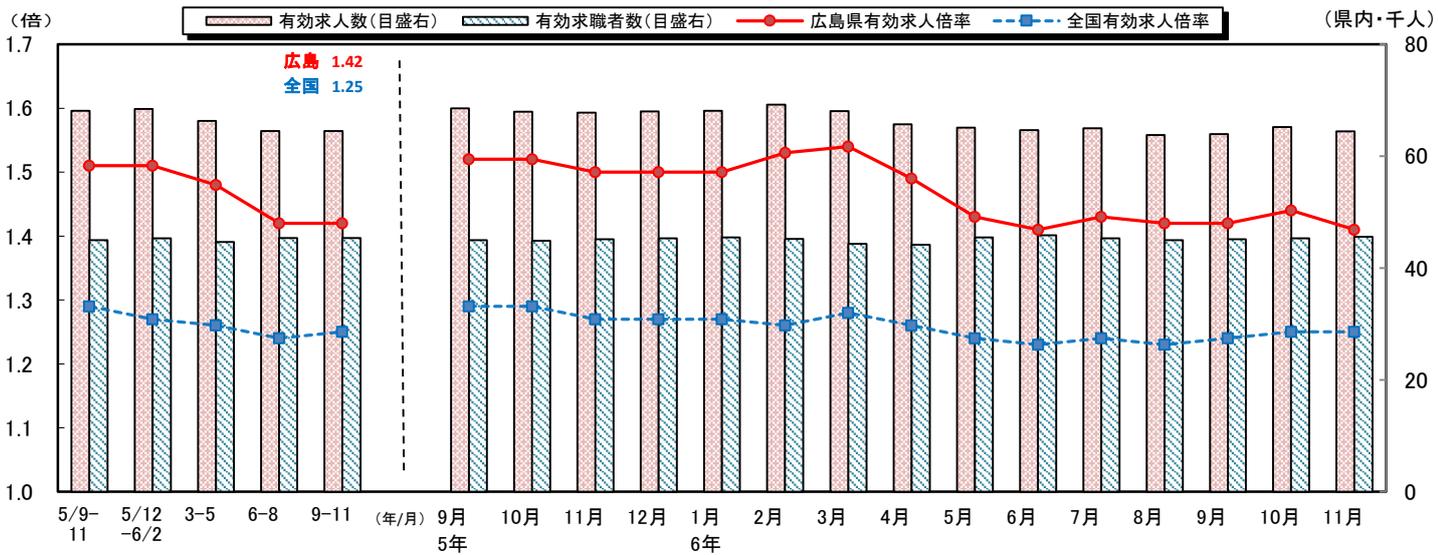


(資料出所: 広島県)

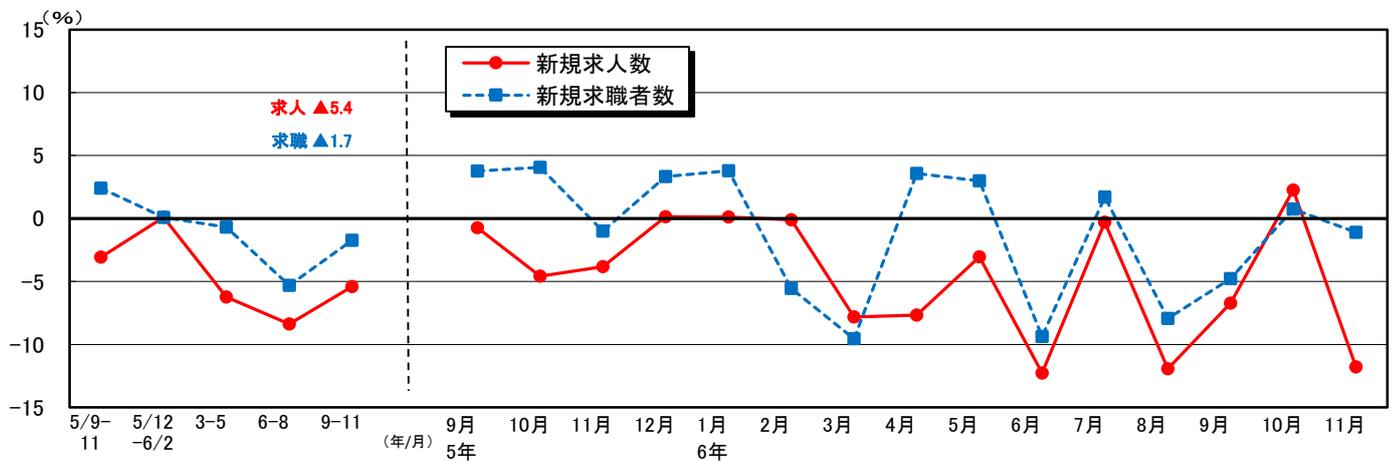
3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。

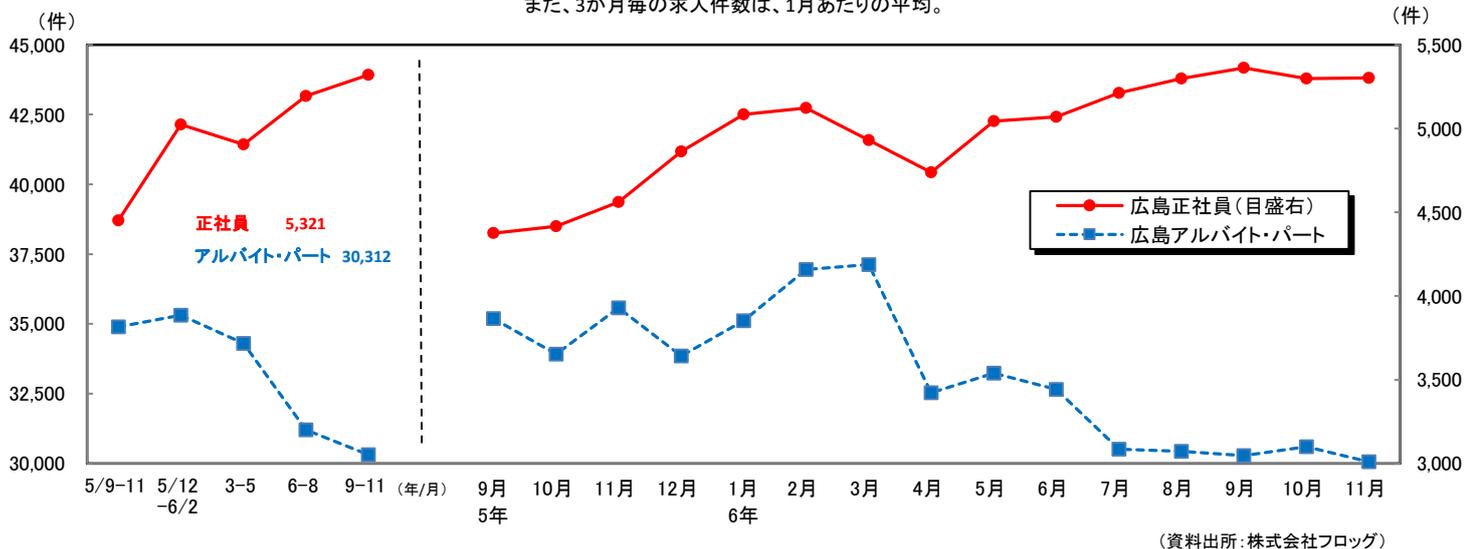


(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



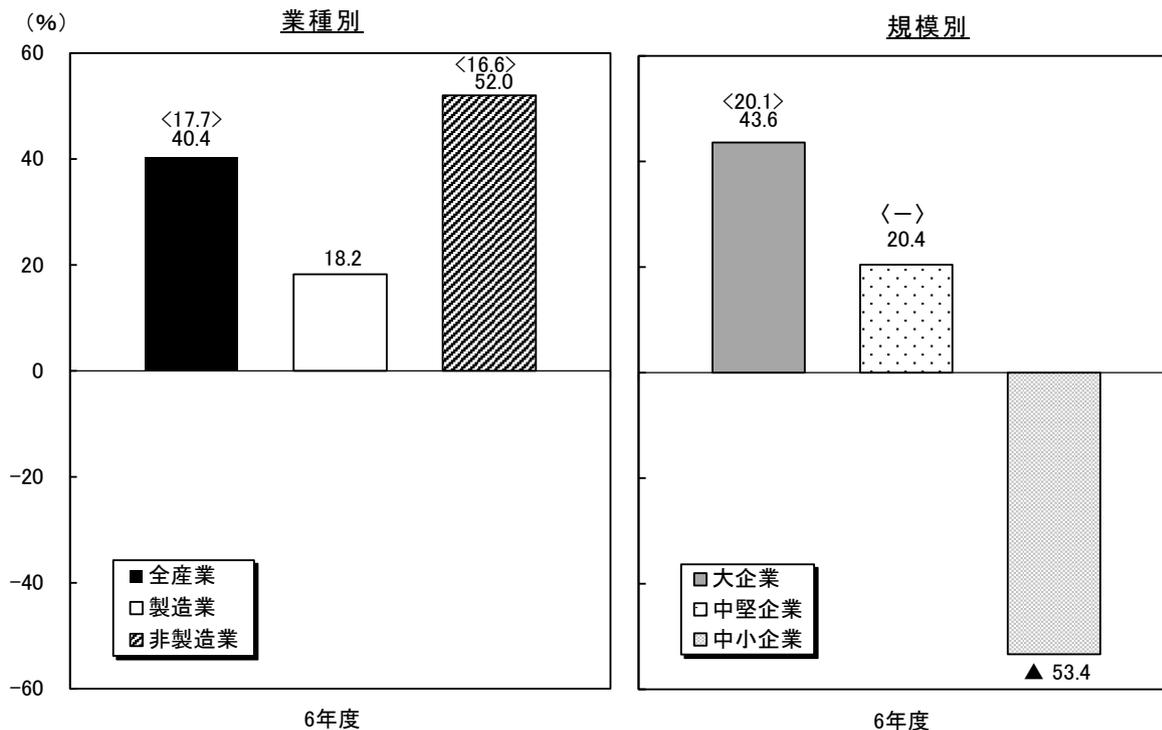
(3) 民間職業紹介における求人数の推移

(注) (3)のグラフの各月求人数は、毎月最終週時点の件数。また、3か月毎の求人数は、1月あたりの平均。



4. 設備投資 6年度は前年度を上回る見込み

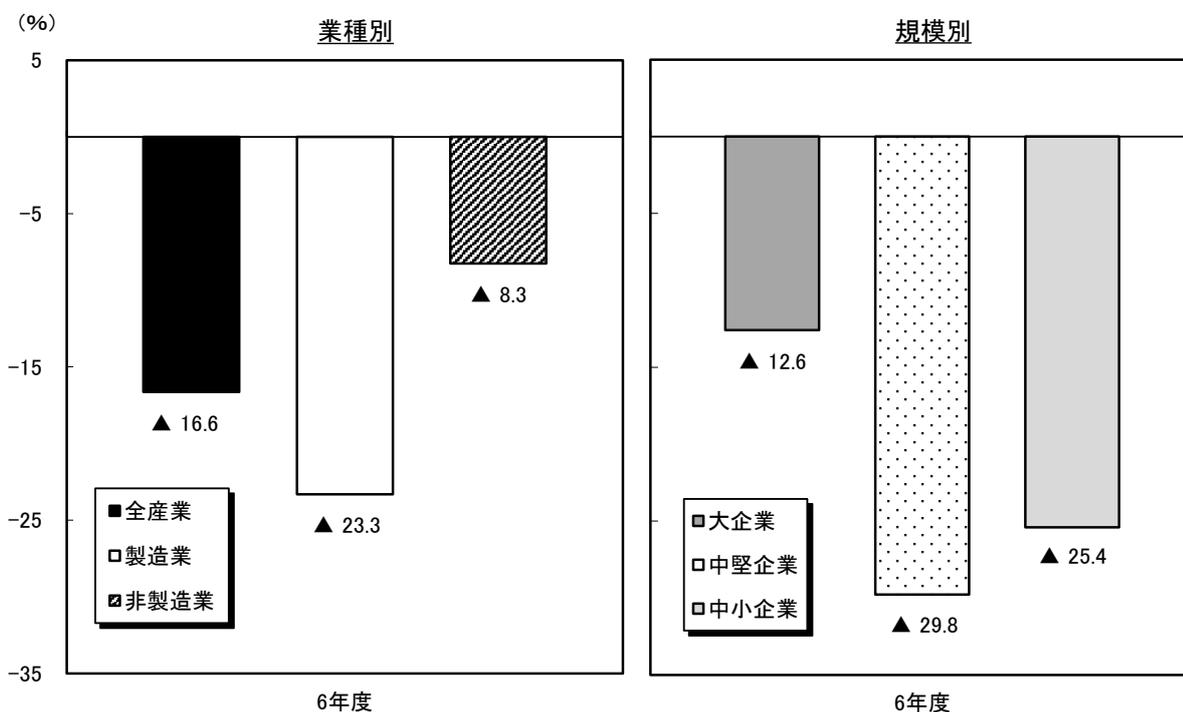
設備投資額(前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

5. 企業収益 6年度は減益見込み

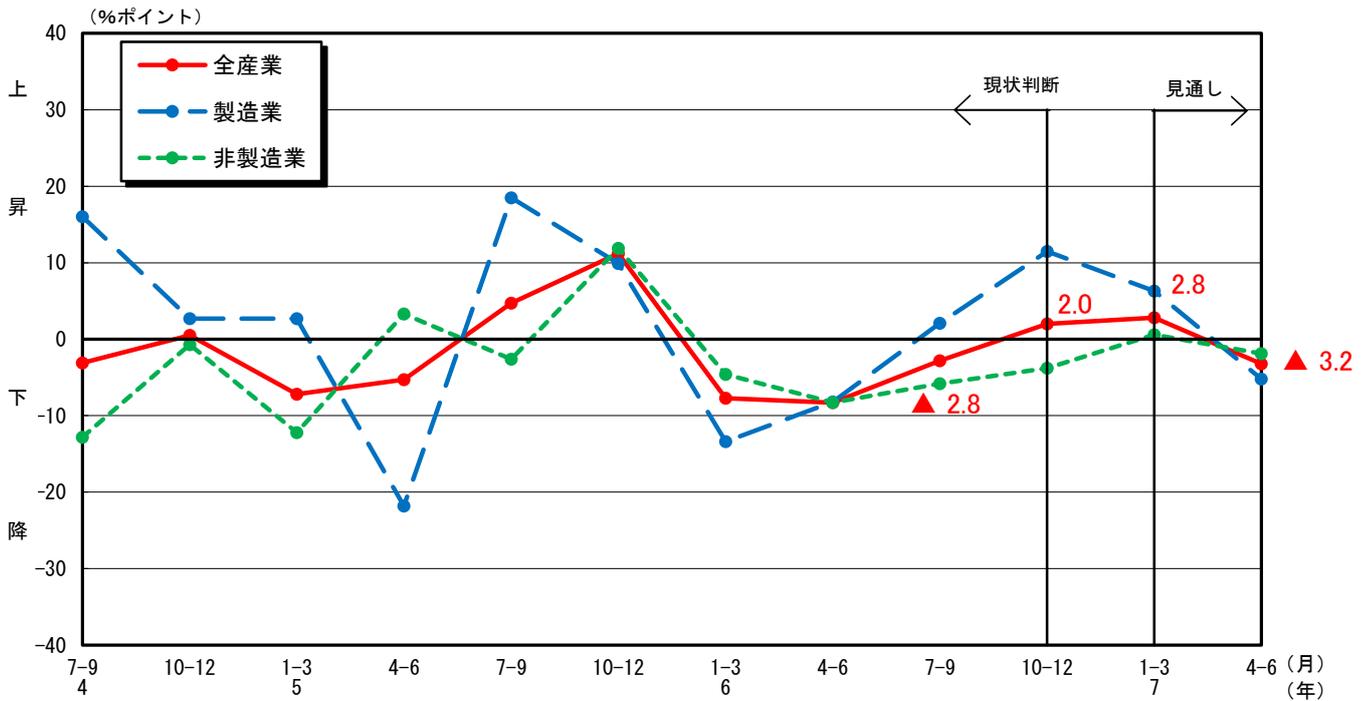
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

6. 企業の景況感 「上昇」超に転じている

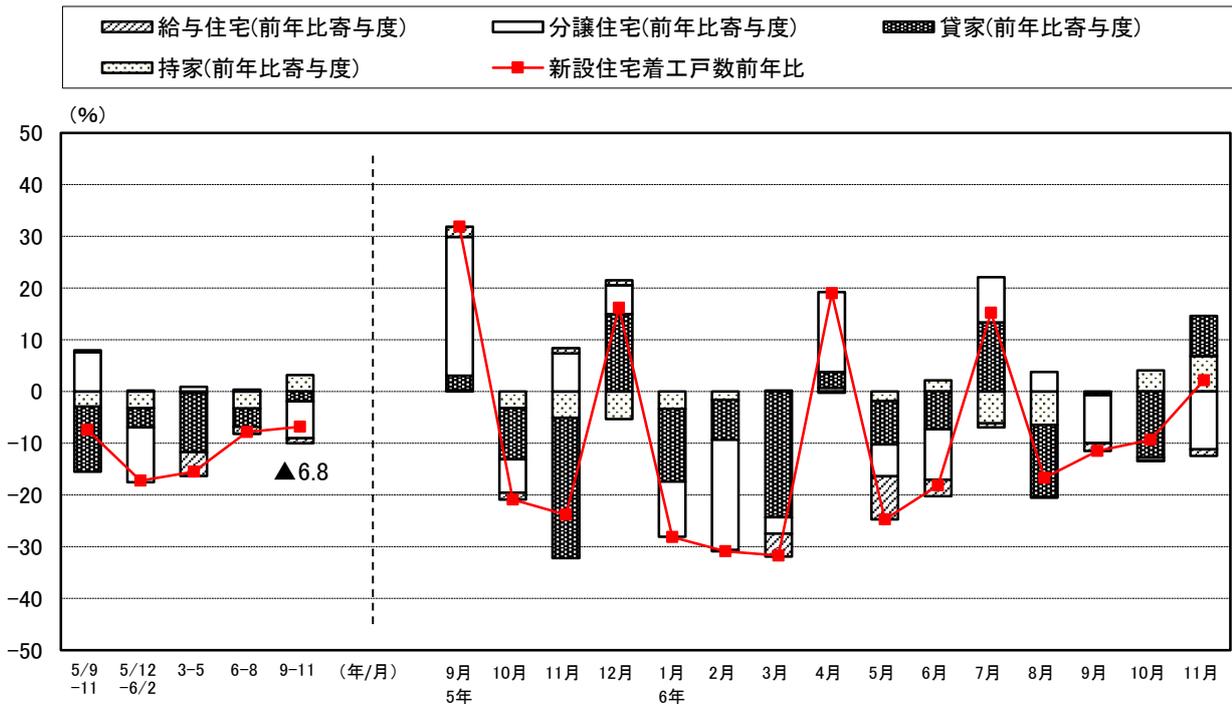
景況判断BSIの推移(原数値) (BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

7. 住宅建設 前年を下回る

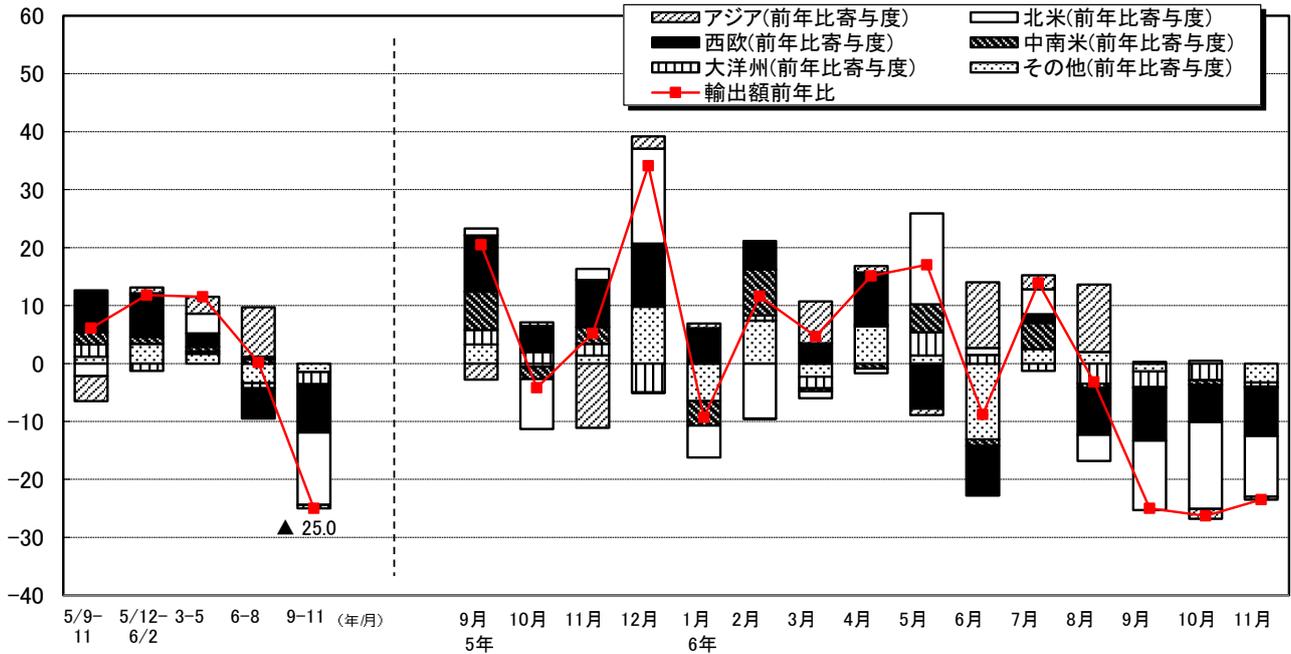
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を下回る

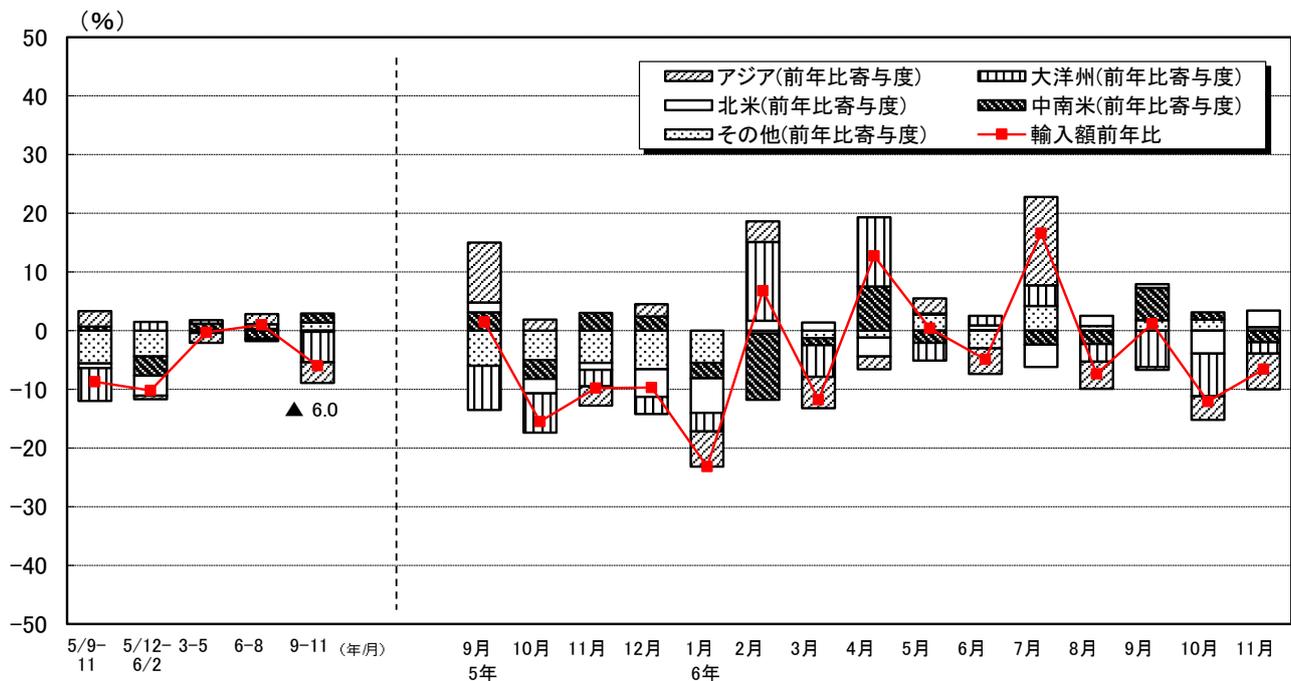
輸出(円ベース)
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関)